

Tachyon



なかにし礼氏によって作詩された公立小松大学校歌のタイトルは「光より速き われら」。ときに光速をも超える思念やインスピレーションが本学学生・職員 の spirit から発せられるよう念願し、本誌のタイトルとして選んだのが「タキ オン」(Tachyon)である。Tachyonは、未だ確認されていない粒子であるが、 光より速い速度をもつとされ、ギリシャ語の[ταχός (速い)]を語源とする。 学長 山本 博

(図出典: Institut for teoretisk Fysik)

We Enjoy Campus Life

ボートサークル

経験者2人、未経験者2人で今年度から 始めたサークル。梯川(中央キャンパス から車で約7分)が主な練習場です。



の大学の地域連携、地域貢献

- 03 新しい国際交流のカタチ
- 04 教員紹介 岩田 佳雄 生産システム科学科教授
- 05 大学TOPICS
- 07 令和4年度 入学者選抜試験情報・第4回青松祭





サイエンスヒルズこまつで 子供たちの好奇心に応える

JR小松駅東に位置するサイエンスヒルズこまつは、「ものづくりの現場」と「科学の原理」を融合した体験型展示などを通して、子供たちに理科や科学の面白みを伝える施設です。

本学ではこれまで、「夏休み自由研究相談」や「体験教室」、「トークイベント」などで連携協力しています。また今年度は、生産システム科学科の4年生が卒業研究の一環として、「AI」をテーマにした新たな展示を開発中です(令和4年春展示予定)。



◀看護の坂本教授(右)は、ゼリーづくりを通して、食の凝固の仕組みを子供たちに解説(2020年サ

建機メーカー「コマツ」 発祥の地の活性化に取り組む

国際文化交流学科 杓谷ゼミ、地域実習

遊泉寺銅山跡周辺の鵜川町、遊泉寺町、立明寺町からなる「鵜 遊立エリア」の活性化を地域住民と共に考えています。令和2

年度は、グループ別に活性化策を検討し、行政や地域住民に提案しました。今年度は、小松市で開催される「日本遺産サミット」に向け、地域のマップの作成を始めとする魅力発信に取り組んでいます。



地域住民の皆さんと学生が協働することで何かが 生まれればと期待しています。地域社会が元気に なることが何より大切です。

活性化

国際文化交流学科 杓谷 茂樹 教授

こまつ市民大学

「いくつになっても学びたい」、そんな市民の気持ちに応える場として、2018年から小松市と本学が連携して開催している市民向けの生涯学習講座です。9月からの第4期講座では、「学長・副学長特別講座」や「そくさいプロジェクト」、「中国語講座」、「建設業のイノベーション講座」など、10講座を本学教員が担当します。

こまつ市民大学

中和3年5月~中和4年8月 第4期受講生募集



▲ 2020 年学長特別講座

看護学科 教員・学生

ワクチン接種を応援

看護学科では、3月は市民病院の医療従事者向け接種会場で、4月~8月は市内3か所の集団接種会場(小松市民センター、こまつドーム、第一地区コミュニティセンター)で、主に経過観察や会場誘導な

集団接種会場では、事前のリハーサルにも参加し、会場配置や運営について細かな改善点を市に提案するなど、教員と学生が協働で、運営のサポートにあたりました。

ワクチン接種業務 看護学科応援実績

●小松市民病院

どを行いました。

- 3月27日~30日の4日間 学生延べ11人(1年生)
- ●小松市集団接種会場(3箇所)
- 4月~8月 延べ122回 教員・学生(3・4年生)365人



将来、医療従事者を目指す学生にとって、経過観察ブースで看護師とともに行う市民の方への対応は、安全・安心なワクチン接種となるために医療者が果たす役割を肌で感じる貴重な経験になったと思います。

看護学科 中田 明恵 准教授

FEDORAL TRANSPORTER TO THE PROPERTY OF THE PRO

新型コロナ

ウイルス対策

排便の研究に取り組む 新たな学会の設立

看護学科 德田 真由美 教授

看護学科の徳田教授は「排便」を研究テーマに、同じく小松市内で排泄ケアの相談や人材育成などを行っている榊原千秋さんや保健医療福祉関係者などと連携し、排泄に関する様々な課題解決に取り組んでいます。

7月には、「排便」をあえて「うんこ文化」として捉え、議論や研究を進める場として「日本うんこ文化学会」が設立されました(代表は榊原さん、副代表は徳田教授)。これまであまり語られることのなかった「排泄」について、排便ケアを始めとして便を気持ちよく出す文化の創成と発展を目指した新しい取り組みとして、注目されています。

11月には、小松市内で第1回学術集会(学会の設立総会や講演、講座、一般演題発表、シンポジウムなど)が開催されます。

第1回学術集会

11月6日(土)·7日(日)開催



地域連携·地域貢献

2018年の開学以来、本学ではさまざまな活動を通して地域と共に歩みを進めています。地域に貢献し、地域によって支えられ、地方を共創する大学へ一。取り組みの一部をご紹介します。

municul manuscription of the second s

伝統工芸「九谷焼」を発信

公立小松大学の

国際文化交流学科 地域実習(中子富貴子准教授担当)

九谷焼と、その産地である石川県能美市・小松市の魅力を発信する祭典「KUTANism」。2019年の企画段階から参加し、これまで、学生によるガイドツアーや、九谷焼作家おすすめスポットをツアーに編集して発信するなどしてきました。3年目となる今年は、会期中にサイエンスヒルズにブースを設けて学生が常駐し、関連施設の案内や九谷焼のPRを学生目線で行います。



九谷焼作家吉田幸生氏の 工房「錦山窯」を見学**▶**

日本遺産サミット in 小松 11月13日(土)・

11月13日(土)· 14日(日)開催



KUTANism 2021 9月18日(土)~ 11月14日(日)開催



高齢ドライバーの 運転制御能力の可視化

生産システム科学科 梶原 祐輔 准教授

高齢ドライバーによる事故原因の多くは操作不適とされ、適切な時期に免許を自主返納することが求められていますが、自主返納を迷う高齢者や家族も多くあります。梶原准教授が進めているのは、AIを用いて、運転中に予期せぬ事態が生じたときの対応力を測定し可視化する「動的対応力予測システム」の開発です。

令和2年度は、小松市や小松市高齢者交通安全推進協議会の協力のもと被験者を募集し、ドライビングシミュレータを使った 運転体験のなかで脳活動量と脈波を測定する実験を行いました。 今後は、公道での運転実験などを進めながら、免許返納の適切 な判断を支援するシステムの構築を目指します。



◀ドライビングシミュ レータを使ったデータ の収集







れて暮らしています

なぜ振

動が起こる

疲労破壊や摩擦などの損傷につ 械が動く際の振動やそれに伴う 機械その 場で使用するような そのものにとっても人間には不快感を与え 身近な振動は もっとも

どがありますが、

今は

インパ

と呼ば

れる制振

段には、防振や免振、

います。

振動を抑

の条件を

学生へのエー

その性

探求する郷体の振動現象を

振動の抑制が必要とされ

械や構造物の振動を抑制する 0 制振装置を考案

教

佳雄 教授

岩田 (生産システム科学科) Jwata

二次元振動測定装置による測定の様子

います。ものに合うもの あれば上達するであろう) 「好きこそ物の上手なれ」 (好きで 学生に伝えたいことは2 何 を探 にでも挑戦

し自分

証明する面白み不思議を原理で

振動する 不思議な振動が私たちの身の回 りには数々起きて るとグラスが振動して音が鳴 けた指でワイングラスの淵をこ ランコが揺れる 機械振動とは異なり 「摩擦による自励振動」、 「カルマン渦」や、 ます。 がパタパタ 風に

機械振動の原理についてはかな 見を求められることも 発電の振動・騒音測定について意 り研究・解明されて つ目標を持ち、研究の道へ進みま 役に立つものを創造するとい もの造りに目覚めたのは、 近年は、 力学的原理を応用して世 風力発電や火力 いる事柄が オに凝った 大学院を卒 あります。 高

で聴くことが出来いレコードの音楽 をつなぎ、 : ゚゚ / ピーカーに 、テレビの

ないで突き進みましょう。のがあります。まわりを気にしれず、何かを行えば必ず得るも

新しい国際交流のカタチ

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により海外渡航が制限される状態が続く中、オンラインを活 用し、語学力アップや国際感覚の醸成、異文化理解を深めるさまざまな機会を創出しています。

★海外協定校とのオンライン交流

海外の大学等との交流協定の締結は、令和3年9月時 点で 15件 (大学間:9件、部局間:5件、その他:1件) と、 国際交流のネットワークを広げています。

協定校との連携協力により、語学研修や相互講義、文 化交流、学生交流などを実施しています。

●オースティン・ピー州立大学(アメリカ合衆国) 主催「Nashville Cherry Blossom Conference 2021」で桜の魅力を発表

4月7日(水)開催

学生8人が参加。桜をテーマに、桜を使った料理や菓 子、日本画や伝統芸能の中で扱われる桜などについて、 英語でプレゼンテーションを行った。



●モンクット王立工科大学トンブリー校産業教 育技術学部(タイ)とオンライン交流会(生 産システム科学部)

3月1日(月)開催

タイの学生や教員に、生産システム科学部の教員が学 部紹介や南加賀地域の産業紹介、研究内容に関するセミ ナーを実施。

●東南大学(中国)中国語サマースクール 8月23日(月)~9月3日(金)

学生 10 人が参加。中国語のほか、中国文化などに関 する講義も行われた。

★その他交流、英語カフェプログラム

●京都アメリカ大学コンソーシアムの学生との ディスカッション「差別と不正義の克服に向 けて」

7月19日(月)開催

学生8人が参加。 米国からの参加者5 人と、米国における 人種差別や日本にお けるヘイトクライムの



根本原因、差別をなくすための広範な社会運動やキャン パスでの取り組みなどについて議論した。

●英会話カフェ、中国語カフェの開催

3月23日(火)、8月30日(月) ほか

小松市国際交流協会と連携し、市内在住の外国人をゲ ストに招き、会話や異文化体験を実施。

また、金沢市出身のブロードウェイ俳優 由水南さん によるオンラインセミナーなど、幅広い価値観に触れ、

モチベーションの アップにつながるプ ログラムを企画して いる。



交流事業等の実績や詳細は、大学 HP のニュース欄に随時アップしています。

国際交流に関する問い合わせ/国際交流センター(担当:総務課) 🔽 global@komatsu-u.ac.jp

ひとりで悩まず 気軽に相談を

保健管理センター学生相談

各キャンパスの保健管理センターでは、公認心理師 による学生相談を行っています。学生の家族からの相 談にも応じます。相談内容については秘密厳守します。

問い合わせ/保健管理センター ☎ 0761-48-3255



【相談日時】

月曜~水曜 13 時~ 18 時 14 時~ 19 時 金曜

【申込方法】

いずれかの方法で予約してください。 ①電話 ☎ 0761-48-3255 ② E メール health@komatsu-u.ac.jp

2021年9月~2022年3月 スケジュール 🕢 /

2021年

~9月30日(木)

夏季休業

10月1日(金)

後期授業開始 ※履修登録は、10月14日(木)まで

10月23日(土)

大学祭「青松祭」

10月24日(日)

市民公開フォーラム

11月13日(土)

学校推薦型選抜 (地域推薦)、 社会人選抜

12月27日 (月) ~1月6日 (木)

冬季休業

2022年

1月15日(土)・16日(日)

大学入学共通テスト

2月3日(木)~16日(水)

後期試験 (補講・試験予備日含む)

2月5日(土)

学校推薦型選抜 (一般推薦)

2月17日(木)~3月31日(木)

春季休業

2月25日(金)

一般選抜 (前期日程)

3月9日(水)

一般選抜 (中期日程)

3月23日(水)

学位記授与式

第1種ME技術実力検定試験合格 ((公社) 日本生体医工学会)

稲葉悠斗さん(臨床工学科4年)

MEとは「Medical engineering」の略称で、「医 用工学」を意味します。 ME 技術実力検定試験に は第1種と第2種があり、第2種は医療機器の保 守や安全管理に関する基礎知識や、技術の質量を 測る試験です。 第1種は第2種の技能に加え、

医療従事者に対して適切な教育や指導を行なう技能も求められます。毎回 2~3割の合格率しかなく、在学中の合格は快挙と言えます。

5月30日(日)

東京 2020 オリンピック聖火ランナー

土橋香乃さん(国際文化交流学科4年)



5月30日(日)、出身地である 福井県あわら市内で行われた東京 2020 オリンピック聖火リレーで ランナーを務め、聖火をつなぎま

★学長表彰 受當者一覧

令和2年度の学業成績が特に優秀だったとして、各学科から推薦され た下記65人が学長表彰に選ばれました。

【生産システム科学科】(18人)

金田和磨、竹内聡太朗、近澤光太、村田愛莉、横山拓海、吉川晃太、 内呂匡希、近藤悠介、白木嵐樹、田代艶和、田辺大騎、安多遼悟、 浅川航輝、石原保、新村隆、西川茉那、宮野夢生、與三野翔

【看護学科】(15人)

大渕麻由、京谷茜、鞍留佳菜、林田光、綿貫有花、淺沼絢花、飯川柚紀、 奥蘭美咲、下東夕真、原田楓伽、木下愛深、辻口詩乃、長島由佳、 長谷川万莉、柳下文音

【臨床工学科】(19人)

飯塚亮太、奥村詩音、小鮒友美、髙橋沙耶、西村愛佳理、牧野美奈、 嶺井一輝、岩折銀路、小笠原輝、高倉美来、平田友哉、宮野佑也、 渡澤直樹、木下日菜、三之瀬幸季、中村颯汰、中山はる菜、野崎桜花、原彩帆

【国際文化交流学科】(13人)

髙橋優大、西田優希、西谷佳名恵、藤木菜緒、溝邊幹太、小室春佳、 五艘未来、濱田茜、八木茉陽、石上ももこ、石川莉子、泉智華、南向日葵



臨床工学科、国際文化交流学科 表彰式

★ 新入生248人が入学 今和3年度入学宣誓式



4月2日(金) こまつ芸術劇場うららにて、令和 3年度入学宣誓式を執り行い、生産システム科学科 83 名、看護学科 52 名、臨床工学科 33 名、国際文 化交流学科80名、合計248名が入学しました。 昨年度に引き続き、出席を新入生と学内関係者、一 部の来賓のみとし、座席間隔の確保や出席者の検温・ 手指消毒、ホールの換気など、新型コロナウイルス 対策を徹底した上で開催しました。

山本学長による入学許可の後、国際文化交流学科 の中田彩文さんが登壇し、「大学生としての本分を 自覚し、勉学に励むことを誓います」と入学生を代 表して宣誓を行いました。

学長告辞、理事長式辞、小松市長式辞の後、高野 哲郎小松市議会議長の祝辞がありました。また、山 崎直子学長特別補佐(宇宙飛行士)からは、「こう した時だからこそ、遠くの地平線をみること、心を 広く持つことをぜひ忘れないでほしい。そして、自 分自身に制限をかけないこと。自由になるというこ とは、自分の軸を持つことであり、大学での学びの 中でそれぞれの軸を培い、強さ、そして自由になる ための糧としてほしい」と、新入生へエールが送ら れました。

2021年2月~8月



入学宣誓を行う中田さん

★ 学生スタッフも活躍 オープンキャンパス2021



7月17日(土) 3キャンパスで「オープンキャ ンパス 2021」を開催し、約 270 人の参加者が、 学科説明や模擬授業、模擬演習、キャンパス見学な ど様々なプログラムを体験しました。

各会場では、学生スタッフが受付や誘導を行った ほか、進学相談や学生交流コーナーでは、参加者か らの学生生活に対する質問や相談に応じました。



国際文化交流学科 中国語の模擬授業



臨床工学科 医療機器の展示・解説

★ レクリエーションなどで交流 きずな合宿(新入生交流会)



4月10日(土)、新入生を対象に、学生同志及び 学生教員間の交流と親睦を深め、大学生活のスター トをスムーズに切れるよう、「きずな合宿」(新入生 交流会)を開催しました。

学部別に3つのキャンパスに分かれ、キャンパス ツアーや自己紹介、上級生との座談会、レクリエー

ションなど、 4年間共に学 ぶ仲間や先輩、 教員と楽しい 時間を過ごし ました。



★令和3年度新規着任教員

○生産システム科学科

上田芳弘(教授)、坂本一磨(助教)

○国際文化交流学科

朝倉由希(准教授)

6 5

令和4年度公立小松大学入学者選抜試験

一般選抜は、インターネットを利用した Web 出願のみになります。 各試験の募集要項は、9月以降にホームページで順次発表予定です。

	区分	出願期間	試験日	合格発表	入学手続期限	
学校推薦型選抜	地域推薦(市内、県内)	11月1日(月) ~5日(金)	11月13日(土)	12月1日 (水)	12月10日(金)	
馬型選抜	一般推薦	12月14日 (火) ~22日 (水)	^{令和4年} 2月5日 (土)	^{令和4年} 2月10日 (木)	^{令和4年} 2月18日(金)	
一般選抜	前期日程	令和4年	^{令和4年} 2月25日(金)	令和4年 3月5日 (土)	令和4年 3月15日(火)	
	中期日程	1月24日(月) ~2月4日(金)	^{令和4年} 3月9日(水)	^{令和4年} 3月20日(日)	令和4年 3月26日(土)	
社会人選抜		11月1日(月) ~5日(金)	11月13日(土)	12月1日 (水)	12月10日(金)	

(単位:人)

	学科	入学定員	選抜区分と募集人員					
学部			一般選抜		学校推薦型選抜			
学部			前期日程	中期日程	一般推薦	地域推薦		社会人 選抜
						市内	県内	ZSJX
生産システム科学部	生産システム科学科	80	40	20	7	6	7	
	看護学科	50	30	8	2	5	5	若干名*
保健医療学部	臨床工学科	30	17	5	3	2	3	若干名*
	計	80	47	13	5	7	8	若干名*
国際文化交流学部	国際文化交流学科	80	35	25	7	7	6	
合 計 2			122	58	19	20	21	若干名*
大学	課	す	課す		課さない			

※社会人選抜の募集人員は、各学科の一般選抜の内数とします。

